

# 東本郷地区 まちづくりプラン



2005年7月

横浜市緑区役所  
横浜市都市整備局

# 目次

## はじめに

### I章 東本郷地区まちづくりプランについて

- 1 都市計画マスタープラン……………P.1
- 2 東本郷地区まちづくりプラン……………P.2
- 3 『緑区まちづくり計画』での本地区の位置づけ……………P.4

### II章 地区の特性

- 1 地区の概況……………P.5
- 2 現況と特性……………P.8
- 3 地区の課題……………P.13

### III章 地区の目標と方針

- 1 地区まちづくりの目標……………P.16
- 2 地区まちづくりの基本理念……………P.17
- 3 まちづくりの方針……………P.18
  - 方針1 道路交通環境の改善……………P.18
  - 方針2 快適に暮らせる住環境づくり……………P.20
  - 方針3 安全・安心まちづくりの推進……………P.22
  - 方針4 緑と自然のまちづくり……………P.24
  - 方針5 エコ・コミュニティづくり……………P.26
  - 方針6 地域コミュニティづくり……………P.27

### IV章 実現に向けて

- 1 協働によるまちづくり……………P.28
- 2 まちづくりプランの進行管理……………P.29
- 3 まちづくり制度の活用……………P.30

### 用語解説……………P.31

(本文中、※印のついた用語については解説を加えています。)

## はじめに

横浜市の西方に位置する緑区は、鶴見川及びその支流の河川や谷戸、森によって、川沿いの低地、丘のふもと、丘陵地により形成されています。緑区は、こうした地形や、低地に沿って区を東西方向に横断するJR横浜線の鉄道駅の開業などを背景としながら、市街地が形成され、現在（平成17年7月）約17万人の人々が暮らしています。

本地区は、緑区の東端に位置しており、JR横浜線鴨居駅から東へ1kmほど離れた住宅地を中心とした面積約119ha、人口約1万4千人の地域です。地区の現況としてはJR横浜線鴨居駅から続くバス通り沿いに商店街が形成され、地区北側の鶴見川沿いの低地には農業専用地区<sup>(※)</sup>や近年開発されたマンションなどがあります。地区の南側は丘陵地となっており、昭和40年代頃から開発された戸建住宅団地が広がっています。住宅団地はそれぞれ個別に開発されたため、地区の全体としては主要な生活道路から住宅地を結ぶ道路が計画的に整備されていないことや、バス通り沿いでは歩道が連続していない、もしくは狭いなど、道路体系に関する課題が多くあります。また、地区としては住民による自治会活動が比較的活発であることが特徴として挙げられます。

緑区では、横浜市都市計画マスタープラン・緑区プラン「緑区まちづくり計画」の策定にあたり、各地区で地区懇談会を開き、まちづくりに対する意見を広く聴取してきました。この地区懇談会をきっかけとして、本地区では連合自治会長の呼びかけにより各単位自治会の代表者が中心となり、「地域のまちづくりについて地域自らで考えて取り組む」ことを目的に、東本郷まちづくり協議会が平成13年度末に発足しました。平成14年12月に「緑区まちづくり計画」が策定された後も、この協議会ではまち歩きや勉強会などを実施することで本地区の課題や問題点を抽出・整理し、課題解決のための方策を検討してきました。この約3年間の検討を踏まえて、横浜市が本地区を対象とした本プランを作成したものです。

「東本郷地区まちづくりプラン」は、横浜市都市計画マスタープランにおける地区プランとして、おおむね20年後の望ましい東本郷地区の将来像とともに、それを実現するためのまちづくりの方針を示しています。本プランにより本地区におけるまちづくりの方針が広く共有され、これを手引きとして地区住民、事業者、行政が協力しあいながら、それぞれの立場で主体的にまちづくりを進めていくことを期待します。